



医療法人
陽和会

南山病院

沖縄県糸満市字賀数406-1

TEL 098-994-3660

FAX 098-994-2598



「南山病院」では、障害をもつ方々の社会復帰を支援する医療機関として2015年より障害者雇用をスタートしており、現在は10名以上の方が就労しています。事前の取り組みとして、受け入れ前に当時の職員200名に対してアンケート調査を実施しました。その結果、前向きな意見が多く寄せられたことが、障害者雇用に取り組む大きな後押しとなりました。その後部署でも勉強会を開催して理解を深め、実際に入社した際にどのような業務を任せるかなど、細部に渡って丁寧に話し合いを繰り返してきました。そのような調整を経て、現在では院内のさまざまなセクションで受け入れが進んでいます。障害をもった方も、そうでない方も、ともにそれぞれの強みを生かしながら日々職務にあたっています。

私たちはサポートの一環として院内に「障害者職業相談員」を配置しており、その存在を当事者や職場全体に周知し、効果的に活用してもらおうと心をかけています。各セクションでの

心通う職場づくりを実現

ともに働く「仲間」として



勤続年数:約11年

仲里 東洋さん

働く人の声

当事者 Voice

日々やりがいをもって働いています

現在は病棟の清掃と環境美化を担当しています。ホールをはじめ、病室、お風呂・トイレなどの床掃除や清掃のほか、掃除用具の管理も大切な仕事の一つです。仲間と協力して頑張った仕事に対して、「きれいになったね」「ありがとう」と他の部署の皆さんから声をかけてもらうことも多く、やりがいや達成感につながっています。



※撮影用にマスクを外しています。

課題や本人が感じる困りごとなど、障害特性を理解している相談員がいることは現場でも大きな助けとなっています。

また、「障害者雇用」を進めていく際は、一人ひとりの症状や状態が異なることをしっかりと理解することが大切だと感じます。例えば相談の手法一つをとっても、電話の方が話しやすいという方もいれば、LINEなどのメッセージ

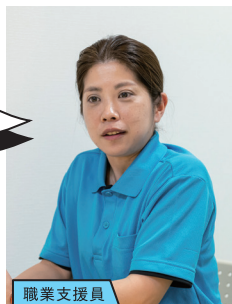
で相談したいという方もいますので、個々のニーズや適正を見て、当事者の皆さんが相談しやすい方法を選択しています。柔軟に個々の特性を認めて信頼できる職場づくりを意識することで、結果的に皆が働きやすい環境が整うのではないのでしょうか。

今後も、採用の前に職場実習などを通してミスマッチを防いだり、支援機関から当事者の健康管理の方法を聞き取るなど、きめ細やかに対応することで障害をもった方々の社会復帰に貢献できればと思っています。

仲間からのMessage

「その人自身」をみつめ、支援しています

チームでの作業が多いため、仲里さんとも何でも話せる関係性が築けていると思います。「障害者」という一面的な視点ではなく、あくまで「その人自身」をみつめることの重要性を感じます。地域社会で活躍できる場があることで、障害の有無に関わらず人と人が自然に共生できる環境が生まれるのだと思います。



職業支援員

平良 琴美さん

障害者雇用を実現するために大切にしている

3つの POINT

POINT 1

毎日のコミュニケーション

あいさつや趣味の話題など日頃からコミュニケーションを意識することで、ともに働く仲間意識が芽生えます。

POINT 2

キーパーソンの把握と連携

当事者の職員をサポートする支援機関や家族など「支援のキーパーソン」を把握し、連携をすることで役割分担をしています。

POINT 3

支援機関や支援者との情報共有

当事者の生活面での課題など、職場内で対応が難しい場合は外部の支援者と情報を共有し、課題解決を目指します。



福祉事業部 部長兼 人事課 責任者

阿部 慎哉さん